

第 447 回 例 会

23年2月18日

本日のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 中井 周治 会員
「老後の施設について」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

次回(2月25日)のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 クラブフォーラム
国際奉仕委員会 久保田 秀一 委員長
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

先週(2月4日)の例会報告

■会長の時間

3日の節分で「福が内に舞い込み」今日2月4日の「立春」で温くなる陽気とともに「身も心も(懐もw)温くなる」景気回復を期待しましょう。早咲き桜として伊豆「河津桜」が有名ですが、南房総「元朝桜(ガンチョウザクラ:大島桜と寒緋桜の自然交配種)」も今が満開で、「菜の花畑」の黄色の絨毯とピンクの「桜」、「蜜蜂」との贅沢な美しいコラボ映像がTVで流れていました。「桜まつり」は明日からとのことで、一度は実際に現地で体感したい景色でしたので、皆さんも機会があれば是非行ってみてください。

ところで昨日イタリアの取引先と電話で話していたところ「明日から春?@@」との話になり、お国柄「春の概念の違い」を実感しました。(日本ほどには四季の違いをはっきりと意識しない)欧州では、「寒くも暑くもない時期が春」、つまり「3/20頃春分(昼夜の長さ同じ)~6/21頃夏至(昼の長さピーク)」が「春」との認識で、現にスイスの6月は最高に過ごし易い季節で、「幸せになれる6月の花嫁」も「ローマ神話で結婚を司る女神Junoから」という説だけではなく、「欧州の6月は一年中で雨が最も少なく天気や気候が良く、復活際もあり活気づく季節だから」という理由も頷けます。

日本では「昼夜の長さ同じ」「分(春分秋分)」と「昼夜の長さピーク」「至(夏至冬至)」の間を半分に分け「四立(立春立夏立秋立冬)」と定めたので、1.5ヶ月ずれた「2/4頃立春~5/6頃立夏」が「春」の認識です。因みに日本の気象庁では「3-5月を春の定義」。

このような違いがあるのですが、面白いことに「春を待ち焦がれる寒い地方」では「ちょっとした春の兆候を見のがさず祝う」風習がありカナダ/米国北部では「立春」の2/2頃に「Groundhog Day」というがあります。「グラントホッグ」は別称「マーモット」「ウッドチャック」とも呼ばれ、この頃に冬眠から覚めて地中の穴から出てくることで、春の訪れを祝うもので、米国ペンシルヴァニア州では祝日です。

「New Year」や「春の到来」を祝うのは「万国共通」、暗い大変なニュースばかりですので、「Happy News」映像はホットしますね。

【来客紹介】 2名

【出席報告】

23年2月4日(第446回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
27名	1名	21名	5名	80.77%

【幹事報告】

[メールBOXに配布]

- 1)ロータリーの友(2月号)
- 2)月間地区出席報告(12月分)
- 3)春のララのご案内 ……申込みは3/31まで
- 4)米山記念奨学会 特別寄付確定申告用領収書とリーフレット
- 5)(株)クマヒラ様より「抜粋のつどり」

[回覧資料]

- 1)ロータリー手帳予約申込み ……2/20まで

ニコニコ箱(2月4日)

閑納 真一(名張RC) =名張ロータリーから来ました。よろしくお願ひします。

川上 大雄 =卓話でご紹介した殺菌剤、特許取得できました！福島先生ありがとうございました。

森本 良嗣 =昨日は福は内、福は内と天気はポカポカ、スコアーはボロボロ、名門東海カントリー最高でした。

でも最終ホールはめざせパーゴルフでした。同伴者に感謝です。

中井 周治 =最近暖かくなってきました。自転車にはありがたいです。

大屋 準一 =本日の理事会は欠席させていただきます。申し訳ありません。

高野 幸雄 =近畿各地は「立春」の言葉通り暖かくなりましたが、豪雪の地方はまだまだ大変な様です。

加えて九州宮崎では、鳥インフルエンザに火山の噴火・・・仲々良いニュースは無いですね。

龍岡 恵子 =閑納様、以前からお世話になりまして有難うございます。藤田の方より「くれぐれも宜しく！」との伝言がありました。

豊島 秀郎 =あたたかくなりました。

吉田 正信 =昨日の天気は最高、コースは中途半、うでは最低、いつまでも初心者で新鮮ですが・・・。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 9000円	今年度合計 3883176円
---------	-------	-----------	----------------

卓話(2月4日)

「研究開発のお話 Part 9」 近藤 嘉一 会員

「研究開発に影響を及ぼす内部要因」

企業において研究開発は常に重要課題であり、特に社会的な変動の激しい時代ほど新製品研究開発への要求が強く求められます。

前回は研究開発に影響を及ぼす外部要因としての社会環境要因についてお話ししました。これらは技術変化、市場構造変化、国際環境変化、産業構造変化、社会変化、などであります。

もう一方で、研究開発に影響を及ぼす内部要因として、自社の内部環境要因があります。

研究開発を決定し実行する基本要件である内部環境要因とは、自社における、人、物、金、情報、技術、時間、環境、財務、顧客、営業、業務プロセス、企業文化、風土、などであります。

これらが研究開発を進める上で、重要なファクターとなります。

今回はこの内部要因についてお話しします。

結論としては、自社の内部要因と自社をとりまく外部要因について、十分に解析を行うことにより、自社の強みを発揮し、ビジネスチャンスとなる土俵で研究開発を進めていくことが望ましいということになります。

ロータリー財団 ポール・ハリス・フェローとベネファクター

次の方々にポール・ハリス・フェローならびにベネファクターの称号が贈られました

《ポール・ハリス・フェロー》

秋山 千尋	川上 大雄	河田 英子	菊 泰仁	近藤 嘉一	久保田 秀一
森本 良嗣	斧原 邦夫	柴田 龍彦	清水 喜芳	高野 幸雄	龍岡 恵子
豊島 秀郎	吉田 正信	(以上、14名)			

《ベネファクター》

河田 英子

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか